

平成30年度 第2回学校評議員会報告

I 開催日時 平成31年2月15日(金) 14:00~16:00 於:応接室

II 内容

1 学校概況説明

2 協議・助言

<A評議員>ヒヤリハット・アクシデントの中身について。

- ・他害行為、遊具の使用中の怪我、運動時の接触事故、物を投げってしまったケース等。
- ・毎月の職員会議で報告するとともに、職員の関わり方に注意が必要な場合は、学部長より連絡。

<B評議員>生徒指導の問題行動に対して、直接警察に要請することはあったか。

- ・今年度、直接警察への要請は無かった。

<C評議員>エアコンが設置している教室はどこか。

- ・主に、体温調整が難しい児童生徒のいる教室に設置している。(10教室/32教室)

<C評議員>

- ・学校経営概況の「働きやすい職場づくりの推進」の達成状況の数値が上がっている。何より、職員間のコミュニケーションが図られるのが大事である。職員の健康管理については、一人ひとりが健康増進について、さらに意識を高めてほしい。

<D評議員>学校(高等部)のカリキュラムを知りたい。

- ・高等部では作業学習を週12時間行っている。進路学習では金銭使途の指導や挨拶励行等を実施している。その子のよい点を伸ばすように支援している。

<B評議員>ボランティア養成講座の受講者の年齢層は。

- ・30~40歳代が中心である。

<A評議員>学校と福祉サービス事業所との連携は。

- ・2019年度は、情報交換会を実施する方向で取り組んでいる。よりよい情報交換会が実施できるよう議題を整理し、双方の時間調整について、検討中である。

<C評議員>「学校へ行こう週間」では、どのような方が来校したのか。

- ・中学校の特別支援学級関係者、発達センター職員、福祉サービス事業所職員、本校保護者が多い。

<C評議員>

- ・就学支援専門委員会では前沢明峰支援学校職員の助言が必要なので、今後お願いしたい。
- ・「交流籍を活用した交流及び共同学習」については、積極的に働きかけて実施してほしい。
- ・前沢地区は幼・小・中・高・支援学校の全校種があり、教育環境が整っている。強いつながりを発揮できるようにしていきたい。